

六甲全山縦走大会への挑戦

宮脇 隆夫

S40(1965)機械卒

平成2004年7月 退職して10年ぶりに関東から
関西の自宅に戻ってきました。

それまで、一緒に各地の百名山を登っていた仲間から、
『関西では六甲全山縦走大会があり、これは、百名山の
登山より、体力的には厳しいですが、登山家には遣り甲
斐のある魅力的な大会なので参加しませんか』

という誘いがありました。

その時点では、百名山は60座の登頂を越えていたので
自信満々で参加することにしました。

六甲全山縦走大会とは

須磨浦公園から宝塚まで全長56Kmを尾根を
たどりながら、朝の5時から夜の10時40分の間
に自分の力で、個人の責任で歩き通す大会です。

登る山の標高差の合計は3000mです。

これは富士山の五合目から頂上までを二往復する
標高差と同じです。

参加申し込み

○神戸市役所に参加費を添えて9月前半に申し込み

○配布資料:

- ・六甲全山縦走規約集(こうべのエスプリ)
- ・参加申込書:誓約書(規則を守る、自己責任である事)
健康状態(血圧、血液型、健康診断の受診歴)
緊急連絡先
- ・コース部分詳細図
- ・参加証の送付
- ・参加者の写真を参加賞に添付
- ・大会当日持参

大会のルール

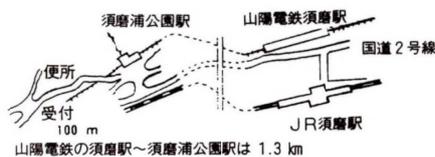
- 1、スタートは5時から7時までの間に須磨浦公園チェックポイントを通過する。
- 2、その後菊水山、掬星台、東六甲分岐点、宝塚ゴールのチェックポイントで決められた時間帯にチェック印を受ける。
- 3、決められた時間帯より遅れた場合はその場で失格となります。
- 4、完走すると『完走認定証』と記念盾がもらえます。

参加者の守るべき基本事項

- 1, 自らの責任で歩く
- 2, マナーを守り、全員が楽しく
- 3, お互いが助け合う
- 4, スピードを競う大会ではない
- 5, 渋滞の覚悟を
- 6, 自らの健康・安全は自らが守る

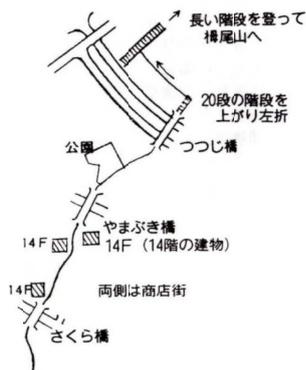
コース部分詳細図

A 須磨浦公園・スタート

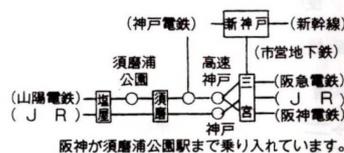


山陽電鉄の須磨駅～須磨浦公園駅は 1.3 km

B 高倉台周辺
住宅街は静かに通ろう



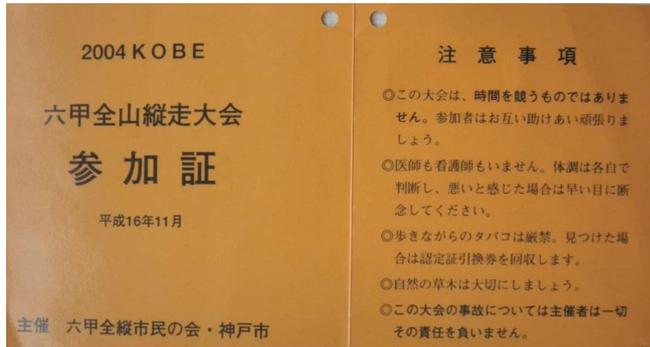
鉄道網概念図



C 東山→横尾→妙法寺小学校→高取山登り口
コース沿いの住民に迷惑をかけないように！



六甲全山縦走大会参加証



参加証

(これを発行して貰うため1500円を添えて市役所に参加申し込みに行く必要がある)



参加証裏面

連絡先、血圧、血液型を記載
実際の登山チェック記録を記載

六甲全山縦走コース図(全体)



六甲縦走高低差図



練習登山

まず、初めて登る登山コースなので、参加申し込み時に貰った登山ルート図を基に、登山コース、登山道の確認とか所要時間を確認すべく、単独で事前登山を行うことにした。

○9月12日(晴れ、気温30度)全縦スタート地点から鉢伏山～旗振り山～鉄拐山～東山と行ける所まで行こうと張り切ったが、暑さの為板宿に下山

○10月11日(晴れ、気温20度)前回の続きで菊水山～鍋蓋山～摩耶山～六甲山ケーブル駅まで6時間を歩く。

○10月23日(晴れ時々曇り)六甲山ケーブルで上駅に行き登山開始～六甲山最高峰～宝塚JR駅 この工程は下りが主なので楽に歩ける。

○11月3日(晴れ、気温15度)最初に途中下山したコースをスタート地点から再トライして半縦を目指す。午後4時で摩耶登山口の市ヶ原まで来たが、登頂してもケーブルカーの最終便に間に合わぬので、登頂は時間的に無理との事で断念。

○11月10日(晴れ)11月23日の縦走大会を控えて、前半の半縦を登りきろうと決意を持って挑戦する。この頃では周りの登山者も全縦の挑戦者らしく、相当高速登山をしている。前回登山を断念した市ヶ原を1時間早く着いたので摩耶山頂上まで行く。これで前半の半縦も自信が付く。

六甲全山縦走大会ドキュメント①

期日:2004年11月23日 晴れ

行動仲間:登山仲間 40代男性 30代女性

【行動実績】

(1)スタートから高取山

- ・2;30 起床
- ・3;10 同僚が妹さんの運転で迎えに来る。
途中コンビニで食糧購入(おにぎり3個、チョコレート1箱)
- ・4;10 須磨浦公園着
出発の行列に並ぶ。既に500人くらいの人が並んでいる。
- ・5;09 スタートチェック完了
- ・5;33 旗振り山頂上
- ・6;18 樽尾山頂上
- ・6;33 横尾山頂上
- ・6;45 須磨アルプス
- ・6;50 東山頂上
- ・7;58 高取山頂上
登山仲間(男性)からTEL(鞆越駅着)40分も早く先行している。

六甲縦走写真集(スタート地点～高取山)



スタートCPに並ぶ参加者



須磨浦公園スタートCP



スタート20分後の最初のピーク



高倉台の住宅街を歩く



何時までも続く渋滞



横尾山への階段(急登)



横尾山頂



横尾さんから下る須磨アルプス



次の東山へ登りの須磨アルプス



須磨アルプス(アルプス級の急登)



東山の展望所(ここからはしばらく下り)



東山から見た妙法寺、緑ヶ丘の街並み



次に向かう高取山の山容



妙法寺付近の縦走路



高倉山の登山道(ひたすら登る) 裏参道から登り表参道を降りる(高取神社)

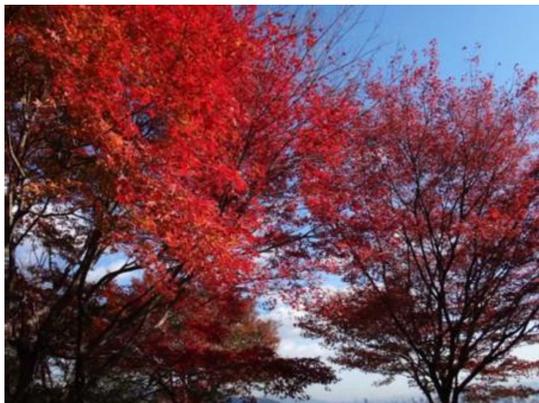
六甲全山縦走ドキュメント②

(2) 高取山から市ヶ原

- ・8;40 鴨越駅
(駅前の店でお茶を購入)
- ・9;10 菊水登山口
- ・9;54 菊水山頂上(第2チェックポイント)
メールTo家内「今菊水山。前回より25分早い」
メール返信「がんばっとうね。無理せんように」
- ・10;30 天王吊橋
- ・11;03 鍋蓋山頂上
メールTo家内「今鍋蓋山。次は摩耶山」
メール返信「快調だね」
- ・11;36 大龍寺山門
- ・11;50 市原
(布引の滝への水路、ここには茶店と公衆トイレが有り、
多くの縦走者が休む)



高取山 → 菊水山



鴨越駅周辺の紅葉



菊水山急登直前にある看板



菊水山頂CP(ここで判を押して貰う)



鍋蓋山



大龍寺山門



市ヶ原(全縦唯一の河原)



市ヶ原(桜茶屋)

六甲全山縦走ドキュメント③

(3) 市ヶ原から掬星台

・12:40 天狗道入口(中間点)

(この登りは、市ヶ原から50分で登ったが自分のペースだと60分かかる所。周りの人の速さに合わせペースが速い。

もうこれ以上はきついで次のCP掬星台でリタイヤしようと思った。

・13:30 掬星台(第3チェックポイント)

ここはボランティアからホットレモンのサービスがあった。

クエン酸の飲み物は登山者の体には、元気を与えてくれる。

ここで、昼食のおにぎりを食べていたら後から出発した

登山仲間の女性に出会う。

「最後まで行くんでしょ!」と言われたが気持ちは揺れ動いていた。

「取敢えず六甲山まで行く」と自分の気持ちの鼓舞も含めて話す。

メールTo家内「今摩耶山。前回より17分早い。しかし疲れた。

次は六甲山。最後の登りなので取敢えず行ってみる。」

メールFrom家内「はい。はい。まあ頑張り」



ドキュメント③



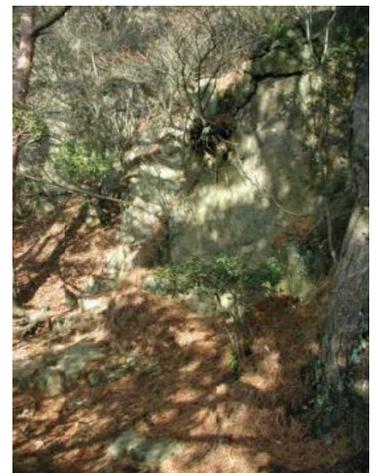
市ヶ原—掬星台



天狗道入口(緩やかな登り)



学校林道(縦走路中間点)



上に行く程きつい登山道



掬星台のCP



無料のホットレモンサービス



掬星台から海側の展望

六甲全山縦走ドキュメント④

(4) 掬星台から六甲ガーデンテラス・六甲山最高峰地点

- ・13;50 おにぎりを食べて掬星台を出発
- ・15;05 丁字ヶ辻 (お茶を購入)
- ・15;40 六甲ガーデンテラス
(これより先は、公共交通機関が無いので、ここは最後まで行くか、諦めるか最終判断をする所)
- ・バス停で行くか、止めるか思い悩んでいた時に
娘からのメール「六甲縦走はどう！今日は良い天気であんなーあまり無理押せずのんびりね。頑張れ～」
(掬星台から六甲山までの登りは、前半の登りより余裕を持って登れた事、未だ16時だし最終ゴールまで6時間以上あるので、何とか行けると思い、完走する事に決めた)
- ・16;33 六甲山最高峰地点(一軒茶屋)
メールTO家内、娘「今、六甲山。最後まで行く」
メールFrom家内「気をつけてな」
メールFrom娘(お！お父さんカッコイイ～！ちょっとしびれたわ～頑張れ～)



掬星台 → 六甲ガーデンテラス



丁字ヶ辻(ドライブウェイに出る)



記念碑台

イギリス人のアーサー・ヘスケスの記念碑
彼は明治の時代、私費を投じて植林や登山道を整備して今の六甲山の登山ルート楚を築いた



郵便局前で甘酒のサービス



ガーデンテラス入り口



ガーデンテラスを歩く縦走者



思い悩んだ六甲ガーデンテラスのバス停



六甲最高峰まで15分の茶屋



六甲最高峰地点

六甲全山縦走ドキュメント⑤

一軒茶屋から宝塚

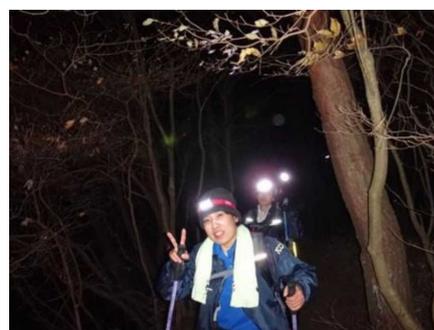
- 16;33 一軒茶屋
- 16;48 縦走路分岐点(第4チェックポイント)
- 17;03 水無山(ここからヘッドランプを使う)
- 17;07 先行している仲間から「私がゴールに着くまで待っていると」彼はすでにゴールした。
- 17;30 時々きれいな夜景が見え隠れする。
オレンジ色の灯りが宝石のように見えた。
- 18;00 大平山
- 19;17 塩尾寺 ここからの下りは舗装道路でしたが、もう情性で歩く。
- 19;54 宝塚ゴール着(完走認定書と記念盾を頂く)
ゴールで先着した仲間が迎えてくれた。
ビールの世話もしてくれ有難かった。
ゴールでは完走した老若男女が喜びを爆発させていた。
- 20;44 JR宝塚線乗車



最終チェックポイント
(東六甲分岐点)



水無山(804m)



太平山(680m)

分岐点からも下り一辺倒ではなくピークが続く



ボランティアの最後尾
フォロー。鬼より遅れたら
ゴール資格有りませ
んよ!という合図



縦走路から垣
間見える夜景



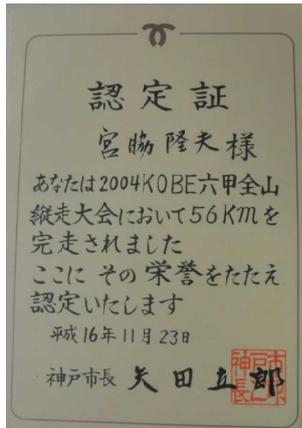
塩尾寺



宝塚市街の縦走路



宝塚のゴール地点



完走者に贈られる認定証



完走者に贈られる楯(3回完走した誉)

2004年六甲全山縦走大会の記録

1. 参加状況 男:1412人 女:375人 合計:1787人 申込者:2088人
 完走者 1211人 女:280人 合計:1491人
 完走率 (85.8%) (74.7%) (83.4%)

2. 年齢別完走者数

年代	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-80	合計
参加者	44	394	758	737	977	658	88	3656
完走者	36	298	606	606	845	592	72	3055
	81.80%	75.60%	79.90%	82.20%	86.50%	90.00%	81.40%	83.60%

3. 遠方参加完走者

新潟 1 長野 1 福岡 4 大分 1 熊本 1 沖縄 1

4. 最高齢完走者

男 80歳 女 74歳